

くぼただより

花のたね保育園
令和7年 5月発行 NO.1

くぼた式育児法

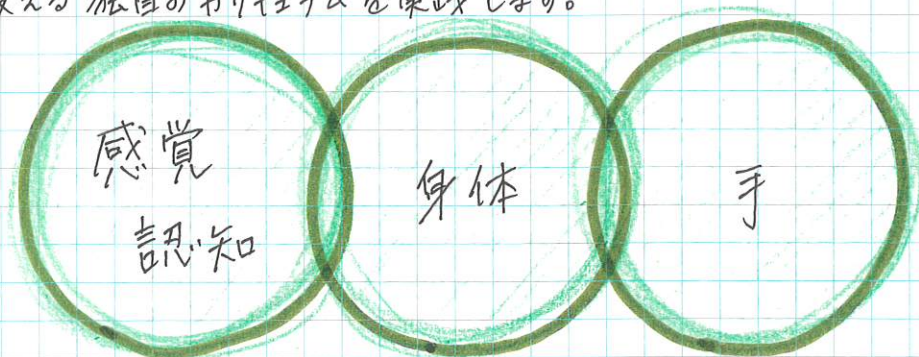
2025年4月から花のたね保育園では、
を取り入れました。「くぼた式育児法」とは、脳の発達時期に応じて
何を与え、何をさせればよいかを、脳科学研究の専門知識と実際の
子育て経験をもとにして、開発した「賢い脳を育てる」育児法です。

脳を鍛える = 前頭前野を鍛える

前頭前野 = 「記憶力」
「思考力」
「判断力」といった
考えるのに影響する
重要な領域

脳は、良く働かせた部位ほど
「シナプス」が増え、発達して
いきます。
くぼた式育児法のカリキュラムは、
子どもの脳に、五感から働きかけ
前頭前野を集中的に刺激する
ことで「考える力」を育てることを
目的としています。又、月齢、年齢
ごとに「**感覚・認知**」

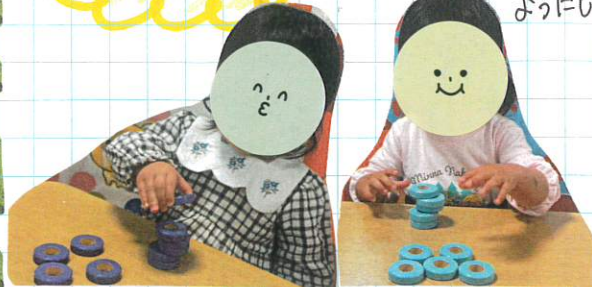
「身体」「手」それぞれの観点から前頭前野を
鍛える独自のカリキュラムを実践します。



保育園では、くぼた式育児法を毎日お遊びの一環として
取り入れています。今回は、「感覚・認知」を主に取り上げ
日々の様子を伝えたいです。

感覚・認知

積み木を積む = ねらい
視線を上手に動かせる
ようにします



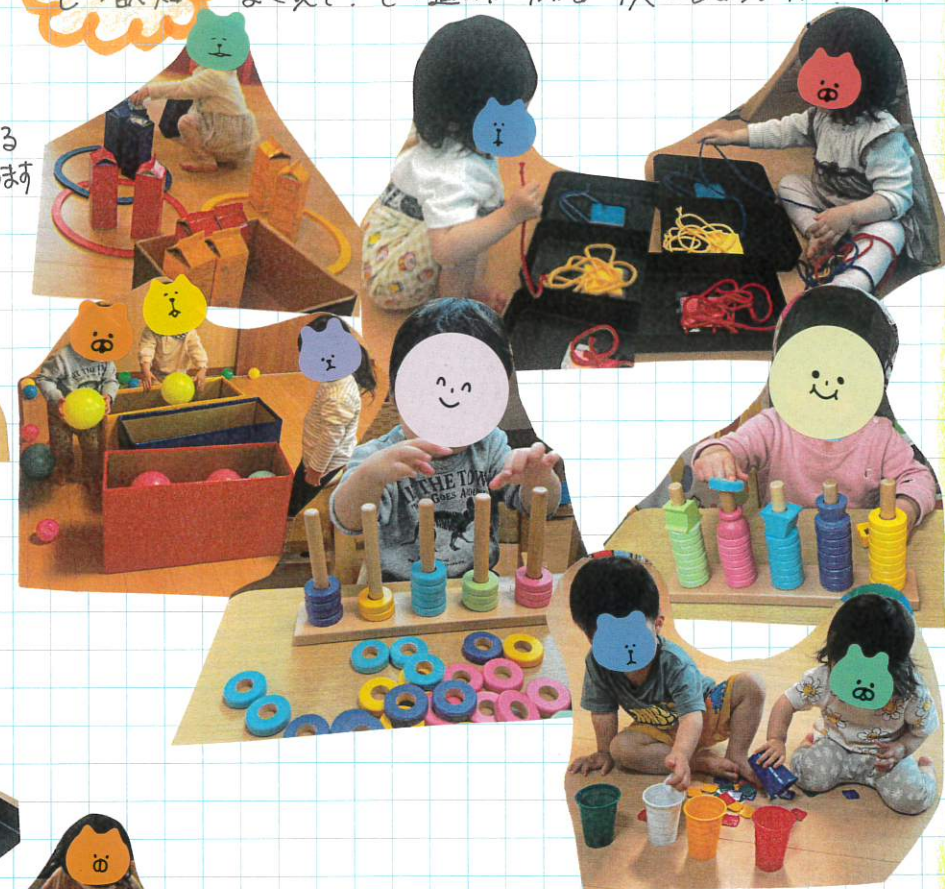
形の認知 = ねらい
よく見て形(○△□)の
違いがわかるように
促します。



仲間探しカード = ねらい
○ 見た目が違っていても、一部が同じでも
同じ内容(物)であることがわかるように
促します。
○ カードの内容(物)の名前が言えることを
目的とするのではなく、日常生活の中で
見た物とのつながりや連想
されることを、会話を通じて
引き出します。



色の認知 = ねらい
よく見て、色の違いがわかる
感じるように促します。



感覚・認知のお遊びは
まだまだたくさんあります。
来月は、保育参観で親子でくぼた式を
体験してみたいです。

